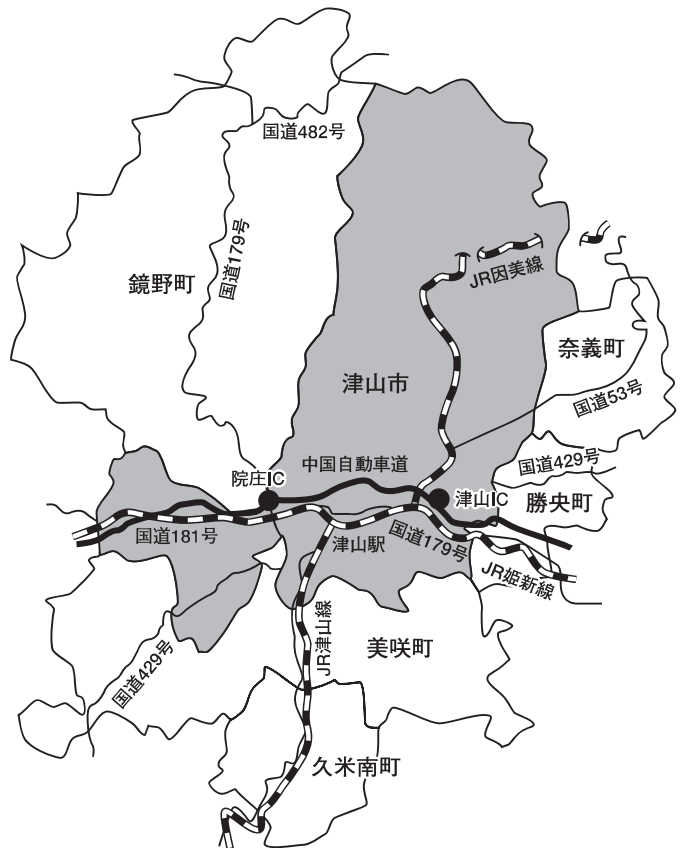
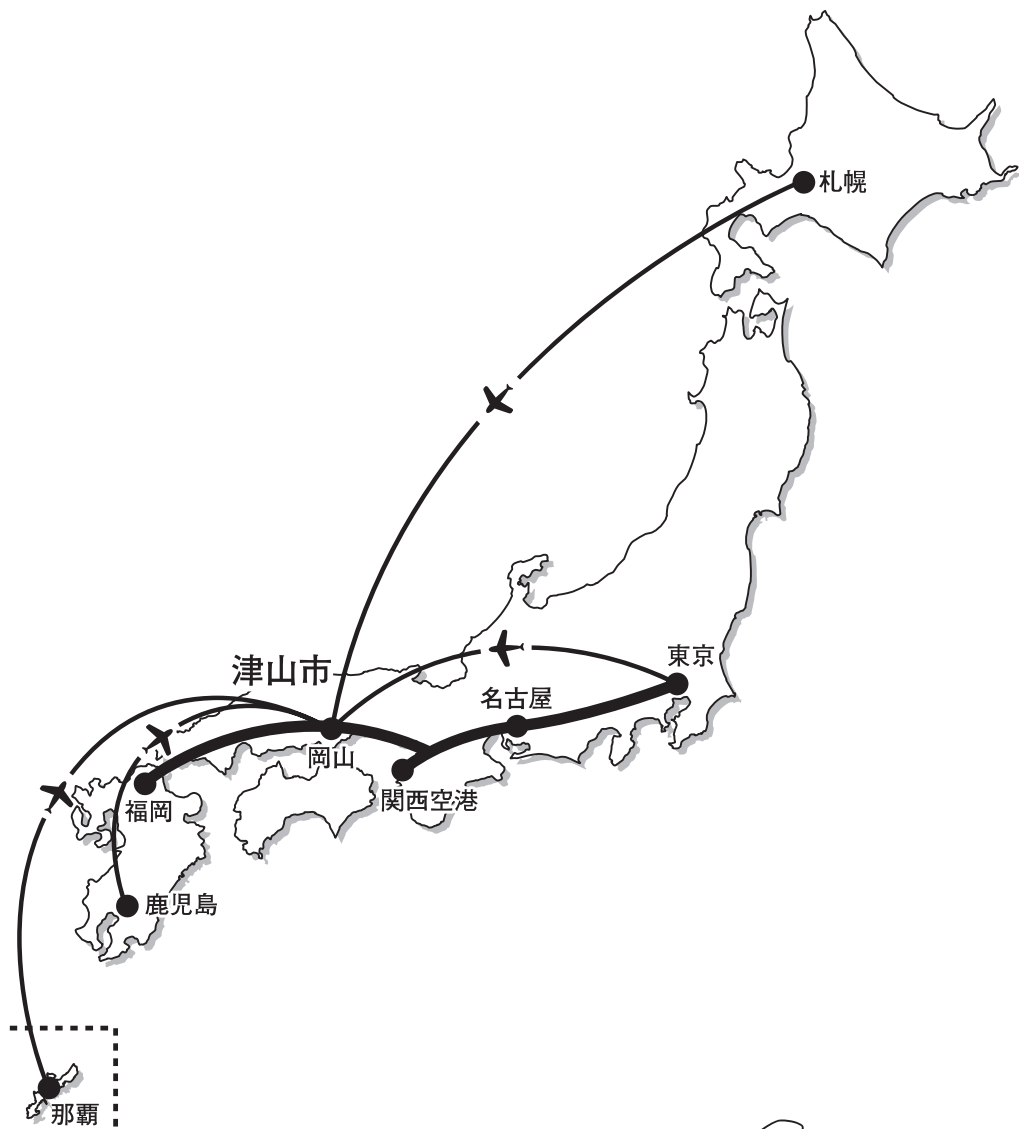


教育委員会と 教育の基本方針



位置……東經134° 0′ 北緯35° 3′
 面積……506.36
 人口……108,898人
 (平成21年4月1日現在)
 市制施行……昭和4年2月11日

津山市の概要

津山地域は四周を山々に囲まれた盆地で、北に中国山地をひかえ、盆地の中央部を吉井川の清流が貫流する、豊かな自然に囲まれた地です。

奈良時代の713年（和銅6年）に美作国が誕生して以来、出雲街道など交通の要衝に位置することから、その政治・経済・文化の中心地として栄えてきました。とくに、1603年（慶長8年）森忠政が美作に入国し、まもなく津山城を築いてからは、城下町として独特の文化をはぐくんできました。以後、森家四代95年、1698年（元禄11年）親藩松平家となり九代174年、藩政が続きました。その幕末から学問の奨励等が行われ、宇田川玄随、箕作阮甫をはじめとした我が国の近代化に貢献した幾多の人材を輩出するなど、教育・文化都市として今日に至っています。

このような地理的・歴史的・文化的背景は、伝統産業としての農林業に加えて、城下町400年の歴史を持つ商業を育むとともに、近年の高速道路の開通を契機とする工業団地の造成・企業誘致などのまちづくりに活かされてきました。

こうした中で、平成17年、地域的なつながりの深い津山市・加茂町・阿波村・勝北町・久米町が合併し、以来、同郷としての一体感の醸成に努め、さらに本年2月11日には市制施行80周年を迎え、いよいよ県北の雄都として発展が期待されています。



津山市街地